

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワーク演習Ⅳ (2単位)	3. 科目番号	
2. 授業担当教員	田代 幹康 / 星野 弘美 / 矢野 亮		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	春期・秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>ソーシャルワーク演習は、演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴと1年次から4年次まで断続的に学習するよう構成されています。これらの演習の主な学習方法は、グループ討議、文献調査、社会調査、情報収集、面接技法、ロールプレイ、モデリング等の多様な方法を用いて社会福祉実践の知識と技能を具体的に学習することを目的としています。</p> <p>ソーシャルワーク演習Ⅳでは、ソーシャルワーク演習Ⅰ～Ⅲで学習した、ソーシャルワーク実践に必要な知識と技術に関する学びを踏まえて、改めてソーシャルワーク演習の意義と目的、また修得すべきコンピテンシーと実践において求められ、展開される社会福祉士の活動とそこで求められる価値、知識、技術について事例を通じて、また履修者同士、グループディスカッションを通じて理解を深めます。</p>		
8. 学習目標	<p>ソーシャルワーク演習Ⅳが終了した時点で、下記の学習目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ソーシャルワーク演習の意義と目的について明瞭な説明をすることができる。</li> <li>2) ソーシャルワークのコンピテンシーについてその内容を理解することができる。</li> <li>3) ソーシャルワークの展開過程における社会福祉士のアクションについて想定することができる。</li> <li>4) グループ活動や他者との意見交換などを通して自己の思考を整理し、発表することができる。</li> </ol>		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<p>課題1: ソーシャルワーク演習の意義と目的についてまとめる。          課題2: 「ソーシャルワークのコンピテンシーとはどのようなものか?」という問いに対する回答をまとめる。          課題3: ソーシャルワークの支援過程において確認できたソーシャルワーカーの専門性(専門知識と専門技術)についてまとめる。          ※上記課題につき、すべてA4用紙 40文字×36行×2枚以内(科目名、提出日、学籍番号、氏名などを明記すること)</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p><b>【教科書】</b>          一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『社会福祉士養成講座 7 ソーシャルワーク演習 (社会専門)』中央法規出版、2020.12</p> <p><b>【参考書】</b>          一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 (共通+社会専門)』中央法規出版、2020.12          一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 12 ソーシャルワークの理論と方法 (共通)』中央法規出版、2020.12          一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 12 ソーシャルワークの理論と方法 (社会専門)』中央法規出版、2020.12</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの目標について理解し、説明することができたか。(知識・理解)</li> <li>・4つの目標について思考し、考察を深めることができたか。(思考・判断・実践)</li> <li>・4つの目標について関心を深め、意欲的に取り組むことができたか。(関心・意欲・態度)</li> </ul> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個人レポート(課題1～3) 60%</li> <li>2. 演習への参加度・取り組み 40%</li> </ol> <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本科目では、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、より実践的な技術、知識を得ることを目的としています。目的達成のため、受講生は以下の条件を守って下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保って受講しましょう。受講生には積極的な態度を望みます。</li> <li>2. 自ら進んで教員に質問しましょう。理解できないことをそのまま放っておかないようにしましょう。</li> <li>3. 授業は欠席、遅刻、早退をしないで下さい。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教員に書面をもって報告して下さい。</li> <li>4. 明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行います。指導後も授業態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であってもF評価になるので注意して下さい。</li> <li>5. 授業中、私語、居眠り、携帯電話などの操作は緊急時以外、絶対にしないで下さい。</li> </ol> <p>また教員は、以下のことを実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行います。</li> <li>2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話しをするとともに専門用語はわかりやすく説明します。</li> <li>3. 一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加(発言、発表等)できるよう双方向対話型の学習環境を作ります。</li> </ol> <p>遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処します。</p>		
13. オフィスアワー	第1回の講義時に担当教員より通知します。		

14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション ：ソーシャルワーク演習Ⅳのねらいと単元の解説、授業の進め方について	事前学習	ソーシャルワーク演習Ⅰ～Ⅲでの学びを振り返り、学習内容を確認する。
		事後学習	演習内容を整理し、テキストの該当箇所を再確認する。
第2回	社会福祉士養成における演習の意義と目的（第1章1節） ：社会福祉士に求められている役割とその背景、それらを踏まえたソーシャルワーク演習のねらいについて理解する。	事前学習	テキスト p2～6 を熟読し、関連する科目の内容を書き出す。
		事後学習	課題1の作成
第3回	ソーシャルワーク演習〔社会専門〕の目標（第1章2節） ：ソーシャルワークのコンピテンシーについて理解する。	事前学習	テキスト p7～16 を熟読し、不明な点を明らかにする。
		事後学習	課題2の作成
第4回	ソーシャルワーク演習〔社会専門〕の内容（第1章3節） 演習のねらいと事例の基本情報（第2章1節） ：事例検討を行うためのグループの形成と用いる事例に関する基本情報を理解する。	事前学習	ソーシャルワークの支援過程についてまとめる。
		事後学習	事例について不明な点、理解が不足している点について調べ、内容をまとめる。
第5回	ケースの発見とエンゲージメント（第2章2節） ：エンゲージメント（インテーク）において求められる社会福祉士の専門性について事例検討を通じて理解する。	事前学習	エンゲージメント（インテーク）の機能と留意点についてまとめる。
		事後学習	事例、また関連事項において不明な点、理解が不足している点について調べる。
第6回	アセスメント（第2章3節） ：アセスメントにおいて求められる社会福祉士の専門性について事例検討を通じて理解する。	事前学習	アセスメントの機能と留意点についてまとめる。
		事後学習	事例、また関連事項において不明な点、理解が不足している点について調べる。
第7回	プランニング（第2章4節） ：プランニングにおいて求められる社会福祉士の専門性について事例検討を通じて理解する。	事前学習	プランニングの機能や留意点についてまとめる。
		事後学習	事例、また関連事項において不明な点、理解が不足している点について調べる。
第8回	支援の実施とモニタリング（第2章5節） ：支援の実施とモニタリングにおいて求められる社会福祉士の専門性について事例検討を通じて理解する。	事前学習	支援の実施とモニタリングの機能や留意点についてまとめる。
		事後学習	事例、また関連事項において不明な点、理解が不足している点について調べる。
第9回	支援の終結と結果評価・アフターケア（第2章6節） ：支援の終結と結果評価・アフターケアにおいて求められる社会福祉士の専門性について事例検討を通じて理解する。	事前学習	支援の終結、評価、アフターケアの機能や留意点についてまとめる。
		事後学習	事例、また関連事項において不明な点、理解が不足している点について調べる。
第10回	ソーシャルワークの展開過程とコンピテンシー（第2章7節） ：ソーシャルワークの支援過程に沿って確認できた社会福祉士の専門性についてまとめる。	事前学習	ソーシャルワークのコンピテンシーについてその内容をまとめる。
		事後学習	支援過程の中で展開される社会福祉士の専門性について学びをまとめる。
第11回	実践的にソーシャルワークを学ぶ 地域における社会的孤立への気づきと生み出す支援のあり方を考える（1） ：事例の理解と事例演習1	事前学習	テキスト p60～70 に記載されている事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	事例の検討を通じて考察した事項をまとめる。
第12回	実践的にソーシャルワークを学ぶ 地域における社会的孤立への気づきと生み出す支援のあり方を考える（2） ：事例演習2	事前学習	テキスト p71～77 に記載されている事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	事例の検討を通じて考察した事項をまとめる。
第13回	実践的にソーシャルワークを学ぶ 地域における社会的孤立への気づきと生み出す支援のあり方を考える（3） ：事例演習3	事前学習	テキスト p78～85 に記載されている事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	事例の検討を通じて考察した事項をまとめる。
第14回	実践的にソーシャルワークを学ぶ 地域における社会的孤立への気づきと生み出す支援のあり方を考える（4） ：多角的な視点を学ぶ（	事前学習	テキスト p86～93 に記載されている事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	事例の検討を通じて考察した事項をまとめる、
第15回	ソーシャルワーク演習Ⅳのまとめ ：ソーシャルワークの支援過程、また事例から学んだソーシャルワークの専門性とコンピテンシーとの関連性についてまとめる。	事前学習	第2回から第14回までの学習内容を振り返り、学習内容の要点をまとめる。
		事後学習	グループワークを通じて確認できた自己課題についてまとめる。